



国内最大級の“花と緑”に関する総合園芸ショー

第28回 2018 日本フラワー&ガーデンショー

JAPAN FLOWER & GARDEN SHOW 2018

第4回ガーデニングコンテスト 結果発表

公益社団法人 日本家庭園芸普及協会（所在地：東京都中央区、会長：羽田光一）は、全国から最新の花と園芸に関する商品はもとより、園芸・造園の情報、花をモチーフとした一般生活関連商品等を一堂に会した、国内最大級の花と緑に関する総合園芸パブリックショー『2018 日本フラワー & ガーデンショー』を、去る2018年4月20日（金）～22日（日）までの3日間、パシフィコ横浜 展示ホールA・Bにて開催しました。

今回のショーは、1991年に幕開けした第1回目の開催以来、第28回目の開催となり、ショウテーマを『花を楽しみつくす～わくわくドキドキ家族で体験！～』、シンボルフラワーを『あじさい』とし、出展規模75社182小間で来場者をお迎えしました。そしてその結果、65,424人(20日：17,657人、21日：23,235人、22日：24,532人)にご来場いただき、昨年以上となる来場者を迎え盛大な開催となりました。

■来場者数 実績

日程	20日（金）	21日（土）	22日（日）	3日間合計
来場者数	17,657人	23,235人	24,532人	65,424人
天候	晴	晴	晴	-

※前回（2017年）来場者数（3日間合計）は 61,280人

第4回ガーデニングコンテスト 結果発表！

本ショーでは、4年連続の開催となります、「第4回 ガーデニングコンテスト」を実施しました。一般園芸愛好家を対象に、コンテナガーデン部門、ハンギングバスケット部門、ミニガーデン部門の3つのカテゴリーで作品を募集したところ、多くの力作が全国から集まり、ショー開催期間中、作品が展示された会場は、常に多くの来場者で賑わうコーナーとなりました。

本ショーにおける「ガーデニングコンテスト」の実施は、出品者にとって、日頃から培ってきたデザイン力、植え付けの技術、提案性などを活かした作品を、多数の来場者や関係者に披露できるまたとないチャンスになります。また、来場者の多数を占める首都圏在住の一般園芸愛好家にとっては、一流の技術によって作られた作品の数々を間近で見ることができるだけでなく、限られた居住空間でもできる園芸の楽しみ方の実例として、最高の手本を觀賞できるという点で、非常に意義のあるイベントと考えております。

集まった作品数は、67点（コンテナガーデン部門：21点、ハンギングバスケット部門：39点、ミニガーデン部門：7点）となり、会期前日の4月19日（木）、別紙1に記載の審査員による厳正なる審査を行いました。

また、審査員による各賞に加え、4月20日及び21日の2日間、来場者による人気投票を実施して、3つの部門ごとに最も得票数の高かった作品に「ピープルズチョイス賞」を贈りました（※2日間の総投票数は2,431票）。上記審査会にて各部門ごとに1組の受賞者を決定。さらに学生の作品のみを対象とした「学生特別賞」も設け、上記審査会にて各部門ごとに1組の受賞者を決定しました。そして各賞の受賞作品は別紙2の通りとなります。

審査員について

4月19日（木）に下記の9名の審査員によって、審査が行われました。

部門名	審査員	プロフィール
コンテナガーデン部門	杉井 明美	（一社）風のみどり塾代表理事、 グリーンアドバイザー認定審査会委員
	深町 貴子	東京農業大学短期大学部非常勤講師、 グリーンアドバイザー認定審査会委員
	羽田 光一	（公社）日本家庭園芸普及協会 会長
ハンギングバスケット部門	山口 まり	日本ハンギングバスケット協会理事、 グリーンアドバイザー園芸ソムリエ
	間室 伸子	日本ハンギングバスケット協会本部講師、 グリーンアドバイザー園芸ソムリエ
	有吉 和夫	（公社）日本家庭園芸普及協会 ショウ委員長
ミニガーデン部門	正木 寛	ジャパンガーデンデザイナーズ協会名誉会長、 エービーデザイン(株) 代表取締役
	国吉 純	園芸家、株式会社ジュリエッタ・ガーデン 代表取締役
	渡辺 優	（公社）日本家庭園芸普及協会 ショウ実行委員長

表彰式について

表彰式は、ショウ最終日の4月22日（日）に行われ、受賞者に対して、主催者である公益社団法人日本家庭園芸普及協会 ショウ委員長有吉 和夫より表彰状が授与されました。



コンテナガーデン部門
金賞表彰の様子



ハンギングバスケット部門
金賞表彰の様子



ミニガーデン部門
金賞表彰の様子



受賞者の記念撮影

第4回ガーデニングコンテスト 結果発表

(受賞作品画像、受賞者名、作品タイトル、アピールポイントについて)

コンテナガーデン部門

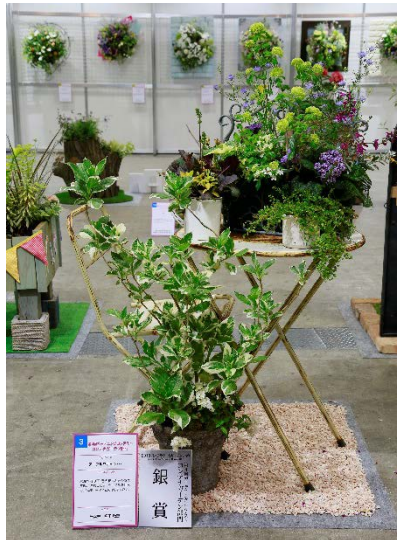
金賞

ピープルズチョイス賞



河尻 伸之
「SEIMEI」
役目を終え新しい生命へと受け継がれる。ひとつの命が次の命を繋ぐ、そんな植物の力強さを表現しています。

銀賞



福田 敏恵
「テーブルを囲んで・・・」
木漏れ日の下、春の花々とみんなの笑顔が溢れます。テーブルを囲んで、さぁティータイムのはじまりです。

銅賞

奨励賞

学生特別賞



杉野 拓子
「庭のかたすみで」
人が住まなくなって少し時が過ぎた庭のかたすみ…
新しい小さな住民がひっそりと暮らしはじめました…



深大寺クラブ
「グリーンミーティング」
「ばーばの女子会」
春爛漫の空の下、ピークパーク元気なばーば達の楽しいガーデニングタイムを表現しました。



日本ガーデンデザイン専門学校
加賀 万智、岡田 夏実、菅野 朱里、杉山 桃子
「温かい家族」
お母さんの作った庭で遊ぶ子供達。それを優しく見守るお父さん。そんな温かい家族の雰囲気表現しました。

第4回ガーデニングコンテスト 結果発表

(受賞作品画像、受賞者名、作品タイトル、アピールポイントについて)

ハンギングバスケット部門

金賞



町谷 和郁子

「家族への想い」

一番身近な存在の家族。毎日支えられている感謝の気持ちです。

銀賞

ピープルスチョイス賞



荒木 淑子

「未来へ」

未来へ向かって歩き出した子供達のこれからを想って…

銅賞



安部 かおり

「花華日和」

春も本格化して、休日に咲き誇る花たちを愛でる幸せな時間を表現しました。

奨励賞



長谷川 享子

「プリティーフラワー」

春のカワイイ花、集めてみました。

学生特別賞



日本ガーデンデザイン専門学校

佐藤 里香

「春のマリントウン」

春の優しい雰囲気にもまれ、大栈橋から眺める海・空・大型船…その様な横浜の風景をイメージしました。

第4回ガーデニングコンテスト 結果発表

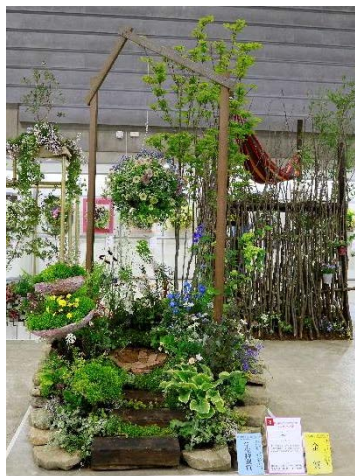
(受賞作品画像、受賞者名、作品タイトル、アピールポイントについて)

ミニガーデン部門

金賞

ピープルズチョイス賞

学生特別賞



日本ガーデンデザイン専門学校
宮島 希望、湯目 紗子、野田 恵里奈

「幻想の丘」

井上直久さんのイバラードの世界観を庭で表現しました。絵本を読むように庭を観て創造力を膨らまして欲しい。

銀賞

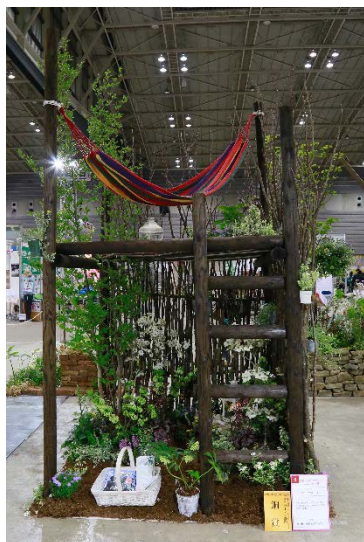


江崎 真吾

「ファンタジーガーデン」

「普通」をつくってもおもしろくない。興味を惹かれるような、変わったものをつくりたいと常に考えています。

銅賞



株式会社花門フラワーゲート

「もうひとつの・・・」

週末は家族そろって特別な遊び場へ。昼は皆で自然とたわむれ、夜は満天の星空で乾杯。

奨励賞



神奈川県立中央農業高等学校

佐々木 輝、忍田 至成、高平 幸世、椎野 芽生、
下田 咲里菜

「竹籠」

全体の骨組みを竹にし、藁を巻いて上部に花を飾ることで、自然に溶け込む様な箱庭をイメージしました。

《この件に関するお問い合わせ先》

2018日本フラワー＆ガーデンショウ推進事務局

TEL・FAX/03-3263-3680